

第 100 回薬剤師国家試験過去問題集(演習型解説書)訂正表 (第 4 刷)

2019 年 3 月 27 日現在

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

◇必須問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
29	問 23	解説 3	代替フロンであるハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)は、塩素原子を有するため、特定フロンに比べ弱いながらもオゾン層を破壊する。	ハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)は、塩素原子を有するため、オゾン層を破壊する。
	関連問題	問題 2 解説	代替フロンであるハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)は、分子内に塩素原子を含むため、特定フロンに比べ弱いながらもオゾン層破壊を起こす。	特定フロンであるハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)は、分子内に塩素原子を含むため、特定フロン のクロ ロフルオロカーボン(CFC)に比べ弱いながらもオゾン層破壊を起こす。
30		問題 5 解説 3 行目	代替フロン の ウ (CHF ₂ Cl) となる。	特定フロン の ウ (CHF ₂ Cl) となる。

◇理論問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
261	Exercise	Exercise	完全ヒト型可溶性 TNF- α /LT α セレプター	完全ヒト型可溶性 TNF- α /LT α レセプター

◇実践問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
368	220	解説 2 2 行目	胆汁酸は食後よりも食直後の方が分泌されやすいため、イコサペント酸エチルカプセルの用法は食後ではなく食直後である。	胆汁酸は食前よりも食直後の方が分泌されやすいため、イコサペント酸エチルカプセルの用法は食前ではなく食直後である。
		解説 4 2 行目	ブラバスタチン Na 錠はフィブラート系脂質異常症治療薬(ベザフィブラートなど)と原則併用禁忌である。	ブラバスタチン Na 錠はフィブラート系脂質異常症治療薬(ベザフィブラートなど)と併用注意である。
379	227	解説 3 3 行目	脱毛がおこる可能性がある。	脱毛がおこる可能性はある。